

NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム事業（NITS カフェ in UBE）開催要項
（ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course 第2・3回研修会）【オンライン研修】

～ 教職員の成長契機を考える！ 教職員を育てる学校づくりを考える！ ～

1 趣 旨

教職大学院を中心とした大学と教育委員会が連携し、指標をふまえた教職生活全体を通じた教員の資質能力形成が求められている。教職大学院や教育委員会関係者、現職教員、地域等関係者が一堂に会し、「カフェ形式」で語りあうことをとおして、教職員の成長契機や教職員人材を育成できる学校づくりのあり方を考える。

2 主 催

独立行政法人教職員支援機構、同 山口大学センター
山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院）

3 共 催

山口県教育委員会、宇部市教育委員会

4 開催日時

令和4年8月27日（土） 12:30～17:10

5. 実施形態・研修場所

ビデオ・Web 会議アプリケーション「Zoom（ズーム）」によるオンライン研修

6 参加者

現職教員、教職大学院生、教育委員会関係者、地域住民、大学関係者 等

7 研修内容等

(1) 開会行事

(12:30～12:45)

あいさつ

山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻

専攻長 佐々木 司

山口県宇部市教育委員会

教育長 野口 政 吾

(2) カフェ（班別ちゃぶ台ワーク）

(12:45～13:45)

テーマ 「私の教職キャリアと成長実感 ～教職員の成長契機を考える～」

①カフェ（班別ちゃぶ台ワークショップ） ②シェアリング

助言者

広島県立呉三津田高等学校

校長

山田 哲也 さん

北海道小樽市立朝里中学校

校長

森 万喜子 さん

ファシリテーター

山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻教員等

(3) 講演

(13:55～15:25)

演 題

「マネジメントの役割について」

講 師

広島県立呉三津田高等学校

校長

山田 哲也 さん

(4) 講演

(15:25～16:55)

演 題

「教員の学び、育ちを支える学校づくり、学校改革」

講 師

北海道小樽市立朝里中学校

校長

森 万喜子 さん

(5) 閉会行事 (16:55～17:10)

講評	山口県教育庁教職員課	管理主事	武 居 輝 記
あいさつ	教職員支援機構山口大学センター	センター長	和 泉 研 二

8 その他

- (1) 本研修事業は、独立行政法人教職員支援機構「令和4年度NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」受託経費により運営される。
- (2) 本研修行事は、「新型コロナ」ウイルスの感染状況や行事時期等をふまえ、当初の「対面・参集型研修、終日日程」から「オンライン研修、時間短縮」として実施する。



キャリア各期の職能開発を「ちゃぶ台」で! 各ステージリーダーの力量形成を支える! 今年も「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced Course」スタート!



NITS 山口大学センター・山口大学教職大学院・山口県教育委員会が一体となって、教職キャリアを貫く職能開発 + ミドル・スクールリーダー養成 + 地域（山口県・市町）の教職員研修の活性化を目指すこのプログラムもなんと9年目。長年のごひいき、ありがとうございます。

本年度は、現職教員 46 人、教職大学院学部卒院生 21 人、県教委と周南公立大と山口大の教職員 19 人の 86 人でスタートしました。

第1回研修会は6月25日（土）、山口大学に、現職教員 23 人、院生 13 人、指導者・スタッフ 27 人の計 50 人が集い、熱い! アツイ! 「Co-fort 研修」を行いました。概要を報告します。



開講行事 + プログラム概要説明

主催者を代表して、和泉研二 NITS 山口大学センター長から、センターの紹介と「10 回連続・積み上げ型で長丁場の研修講座だけど、各ステージのリーダーをめざして頑張っただけ、各ステージのリーダーをめざして頑張っただけ!」の挨拶がありました。

その後、プログラムと年間研修計画を全員で共有。継続会員も新たに参加した会員も、やる気あふれる表情が印象的でした。一緒に頑張りましょうね!

プログラムの実施予定

1ヶ月前を目途に連絡・出欠確認をします!

- 第2-3回 8月27日(土) 午前・午後 山陽小野田市「不二輪送機ホール」
 - 第2回 NITS-Café in Sanyo-Onoda (人材育成ワークショップ、山陽小野田市等への地域公開)
 - 第3回 広島県立三津田高校 校長 山田哲也、北海道小樽市立朝里中学校 校長 森 万壽子
- 第4-5回 10月15日(土) 午前 山口市「KDDI革新ホール」
 - 第4回 前和歌山大学 学長(大阪観光大学 理事長、国立大学協会 参事) 山本健彦
 - 第5回 菊池道場 教育実践家 菊池省三
- 第6-7回 11月5日(土) 午前 下松市「スタービクだまつ」
 - 第6回 NITS-Café in くだまつ (人材育成ワークショップ、下松市等への地域公開)
 - 第7回 ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長(別府大学 教授) 佐藤敏子
- 第8回 12月24日(土) 午後 山口市「KDDI革新ホール」
 - 第8回 KRF山口放送 アナウンサー(フリーランス) 瀬川 嘉(花音)
- 第9回 2月11日(土) 午後 山口大学
 - 第9回 岐阜県 医療法人仁誠会大塚病院 児童精神科医 間 正樹
- 第10回 3月18日(土) 午後 山口市「セントコアビル」
 - 第10回 兵庫県立大学 准教授 竹内和雄、周南公立大学 准教授 大坂 遊

講義「山口県教育の現状、課題と充実期教員への期待」

山口県教育庁教育政策課教育企画班 班長 今田隆之 さん



山口県にある山口大、山口県教育の最前線で働く先生たち。まずは山口県教育の「今とこれからを学ばなくっちゃ!」です。「令和の山口型学校教育」のプランナー、今田班長さんによる GIGA・スマートスクールをはじめとする国や県の政策・施策から県重点プロジェクトや予算等に関する 90 分の基調講義。「日頃、意識したことがない」「初めて知った」という反応が本当に多くて、リーダー研修に必須の研修内容でした。今田班長さん、ご多用の中ありがとうございました。

受講者のコメントから

新型コロナウイルスの流行によって学校が大きく変わることを余儀なくされてから2年半余り。急速なスピードで GIGA スクール構想が進み、一人一台端末があつという間のスピードで学校現場に導入されていく様子を、学級担任として見てきた。正直急激な変化に対応することに必死、目の前の端末に慣れることに必死で、数年かけるはずの事業がどのようにしてあれほど急速に進んだのか、そこにどのような苦労があったのかということには全く思いが至っていなかった。

今日、この急速な導入は当たり前前に達成されたのではなく、関わった方々の努力と使命感、決断と工夫によるものと分かった。山口県の ICT 導入が遅れていたところから、全国でも唯一の取組がなされるようになる迄、たった6名のプロジェクトチームが動き、様々なことを実現していったストーリーを伺う間、脳裏に中島みゆきの「地上の星」が流れたのは私だけではなかったのではと思う。特に「時間がない」「先例がない」という2大要素を理由

3つの学校づくりに向けた取組

- 1 一人ひとりに合った学びを促す学校!
 - 1人1台タブレット端末を活用した主体的な学びの実現!
 - 全ての高等学級等へ: 統合型校務支援システムを導入し、実習生の授業を把握した授業進捗管理を実現! (例: 教員支援学校、R4・小中学校導入支援)
 - 全児童生徒へ: 統合型校務支援システムを活用し、R4・小中学校導入支援
 - 統合型校務支援システムの導入100%!
 - 全ての高等学級等へ: 統合型校務支援システムを導入し、実習生の授業を把握した授業進捗管理を実現! (例: 教員支援学校、R4・小中学校導入支援)
 - 全児童生徒へ: 統合型校務支援システムを活用し、R4・小中学校導入支援
 - 特別支援が必要な児童生徒の可能性を引き出すICT!
 - 統合型校務支援システムの導入100%!
 - 全ての高等学級等へ: 統合型校務支援システムを導入し、実習生の授業を把握した授業進捗管理を実現! (例: 教員支援学校、R4・小中学校導入支援)
 - 全児童生徒へ: 統合型校務支援システムを活用し、R4・小中学校導入支援

ちゃぶ台協議「育成指標から考える今の自分と今年度のチャレンジ」

後半は「ちゃぶ台協議！」 研修びらきも兼ね、それぞれが「宿題」を持ち寄って、和やかに、カジュアルに、でも中身濃く「語る・語られる、認める・認められる、高める・高められる」の「る・られるの関係性」の中で豊かな1時間が展開されました。

参加者のコメントから

小学校の先生や大学の先生など他校種の多くの方と自由に本音を話すことができました。特に、困っている生徒の話や保護者対応など現実的な話をして頂き、普段で聞くことのできない貴重な機会となりました。話をされている際の先生方がとても楽しそうに話されていて、教職の魅了を感じました。(ストマス院生)

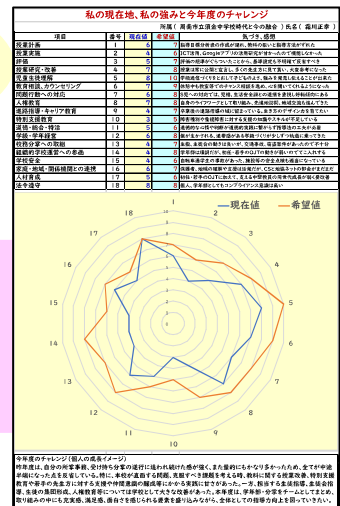
「山口県教員育成指標」に基づく自分自身の立ち位置をレーダーチャート化し、特に特別支援教育に弱みがあることを認識したが、他メンバーからも同様に特別支援教育の必要性が語られ、やはり研修を進めて行かないといけないと理解した。「愛されポイント」を全



員で語ったが、内容もそうだが、それ以上に、不思議と元気ももらうことができた。この「ちゃぶ台」は研修・学習面の充実は勿論だが、精神的支えとしての役割もあるように感じた。(中学校)

今回、幼・小・中・高の他校種の先生方の実践例をお聞きすることができました。その中で、共通して課題となる項目が「問題行動への対応」、「保護者や子どもたちへの対応」でした。子ども以外にも、保護者

へのかかわり方や共に子どもを育てていく仲間としての声掛け方法など、それぞれの先生方の実践事例をお聞きすることができ、参考になることばかりでした。現在、初めて担任を持たせていただき、女子クラスの中で悩みを持つ生徒の相談に日々のつらさを感じ、なかなか解決に結びつけることができず、見守るだけになってしまっています。他教員やスクールカウンセラー等にもつなげていますが、生徒自身の人格形成に響く指導とは何かを模索している状態です。今回の「ちゃぶ台」のように、たくさんの先生方と意見を交わし、ヒントを見つけるきっかけをいただき、教員として成長していく背中を押して下さる出会いや空間、学びに感謝でいっぱいです。(高校)



個人的には、「ちゃぶ台」は各市町でも取り組むべきだと考える。現場での連携において、雑談レベルでの情報共有の影響は大きい。合同研修があっても、雑談ができないのは、お互いが身近な存在でないことが原因と思える。教員同士の心理的距離が近くなることで、多くの問題が解決できるし、似た境遇の人と出会えると「あの人も頑張っているなら。」と自ら向上しようとする環境をつくることのできる。それは、組織の上司からではできない支援とも思える。(幼稚園)

共に学ぶ仲間との話し合いは大変有意義な時間になりました。現職の悩んでいること、ものの捉え方や見方には刺激を受けましたし、自分を振り返って、中心から周りを見るとともに、外から捉えることも必要になっていると感じます。校種が違っても、話の受け取り方が違っていることがあり、話し手が何を意図して話しているのかと考えながら聞き、自分の学びにつなげていくという意識も必要と思いました。(総合支援学校)



閉会行事

最後は、鷹岡 亮 研究科長の「まとめと挨拶」で終了しました。

1年間、「ちゃぶ台」に集い、交わり、楽しみましょう。次回は8月27日@山陽小野田市です。

2022年度「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」実施要項

1. 趣旨

自立・向上・充実期にある若手・中堅教員（概ね教員経験3年以上）が、学校や地域の教育諸課題の解決に向けた教職実践と省察、課題研修やピア・サポート等を行うことにより、ミドル・スクールリーダーとしての資質能力の向上を図るとともに、教職実践課題の解決力や省察力の醸成を図る。

2. 主催 国立大学法人山口大学（教職大学院・教育学部）

3. 共催 山口県教育委員会、(独)教職員支援機構山口大学センター

4. 主管 国立大学法人山口大学（教職大学院）

5. 「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」の日程、内容、主たるテーマ、場所（予定）

第1回 令和4年6月25日（土） 13:00～17:00

@山口大学

山口県教育の現在地、教育政策・施策の実際

講師 山口県教育庁教育政策課 班長 今田隆之
山口県教育庁教職員課 主査 松嶋 渉



※開催方法・時間変更

第2回 令和4年8月27日（土） 10:00～12:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

教職員のキャリア形成と成長契機（ワークショップ）

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子

第3回 令和4年8月27日（土） 13:00～17:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

教職員研修の活性化と学校づくり

講師 広島県立呉三津田高等学校 校長 山田哲也
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子



第4回 令和4年10月15日（土） 9:30～12:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

大学・組織経営をふまえた教育界への期待

講師 和歌山大学 第15代学長、大阪観光大学 理事長 山本健慈

第5回 令和4年10月15日（土） 13:00～17:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

令和時代の学校づくりとコミュニケーション能力

講師 教育実践研究家 菊池道場主 菊池省三



第6回 令和4年11月5日（土） 10:00～12:00

@下松市「スターピアくだまつ」

若手教員の学びと育ち、人材育成とピア・サポート（ワークショップ）

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記

第7回 令和4年11月5日（土） 13:00～17:00

@下松市「スターピアくだまつ」

不登校、生徒指導上の諸課題とコーチングスキル

講師 ナラティブコミュニケーション研究所 所長 佐藤敬子

第8回 令和4年12月24日(土) 13:00~16:30

@山口市「KDDI 維新ホール」

教員としてのことば、表現と基本スキル

講師 アナウンサー (KRY 山口放送) 瀬川 嘉



第9回 令和5年2月11日(土) 13:00~17:00

@山口大学

会員相互、ゲストプレゼンターの実践発表、研究発表と交流

講師 会員相互、やまぐち総合教育支援センター長期研修教員等

第10回 令和5年3月18日(土) 13:00~17:00

@山口市「セントコア山口」

人権尊重と共生社会の創造、ネットいじめ、LGBTQ

講師 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄

宝塚大学看護学部 教授 日高庸晴



特設研 令和5年3月18日(土) 10:00~12:00

@山口市「セントコア山口」

1年間の振り返り

6. 実施方法並びに実施会場(予定)

- (1) 集合・対面型(山口大学、学外会場)に限らず、新型コロナウイルス感染状況等に応じて、オンライン研修型(Zoom、Webex等を用いた同時双方向通信)研修を導入することがある。

7. 受講者

(1) 受講資格

小・中・義務教育・高等・中等教育学校及び特別(総合)支援学校教諭等で、教職経験が概ね3年以上の者(20代後半から40代教員を想定)、県・市町村教育委員会事務局に勤務する者、教職大学院生等

(2) 受講申込

受講希望者は、プログラム事務局(m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp)宛に申し込む。

(3) 受講者決定

プログラム事務局において決定し通知する。研修プログラムの標準定員(60人)を超過した場合は、受講者数を調整することがある。

8. 新型コロナ感染予防

集合・対面型研修として実施する場合、プログラム事務局として、感染予防等に以下の体制をとる。
参加者の制限、入退場管理、会場の換気、参加者の健康観察とトレース等

9. その他

- (1) 本プログラムは、学校や教育委員会との連携・協働による「連続・積み上げ型研修」であり、受講生相互や関係者との自己開示、協働的関わり、ネットワーク形成をとおした連带的、主体的な成長を目指すものであることから、研修行事を優先(受講生による日程・用務調整)する姿勢を基本とする。

- (2) プログラム事務局の連絡先は次のとおりとする。

「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」事務局

〒753-8513 山口県山口市大字吉田1677-1

山口大学大学院教育学研究科・教育学部・NITS 山口大学センター

TEL&FAX 083-933-5458 E-mail m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp (霜川)

霜川、藤上、足立、大丸、岡田を主担当として、15人のスタッフチームで運営します!